



多面的機能支払交付金 活動事例紹介

～ みんなで育む豊かな地域コミュニティ ～

(51 啓発・普及活動 57 やすらぎ・福祉及び教育機能の活用)



1.組織の概要

和田丸環境保全の会は、東温市の山間部で活動する組織です。この活動組織は、令和元年度から交付金活動を開始しており、今年で7年目となります。現在活動を行う対象農用地は、約15.1ha（田：約14.2ha、畑：約0.9ha）で、農地維持、資源向上（共同）に取り組んでいます。

2.地元小学生が稲刈り体験！地域交流を深める

活動組織では、5年ほど前から地元の東温市立西谷小学校と稲作を通じて交流を深めており、今回は6月上旬に児童たちと田植えをした水田で、稲刈り体験を行いました。

収穫したお米は後日、児童に配布される予定で、参加した児童からは、「美味しいお米を家族に食べてもらいたい」と収穫への意気込みを語っていました。

稲刈り体験を終えた児童からは、「初めての稲刈りは難しかったけど、地域の人たちのおかげで、できるようになって嬉しかった」、「稲を刈るときの「ザクッ」という音が気持ちよかった」など様々な感想が寄せられました。

また、体験会では、稲作の年間スケジュールや病害虫対策、農業機械などの紹介も行われ、皆、興味津々で耳を傾けていました。

組織の代表は「この体験を通じて、農業に魅力を感じてもらい、将来の農業を支える人たちに育ててほしい」と嬉しそうに、児童の頑張る姿を見守っていました。

3.地域が一体となって、和田丸の活動が広がる

同地域では、稲作体験のほか、幼稚園児にお米を振る舞ったり、県内の農産物販促イベントに出店したりするなど、地域のメンバーで協力し合いながら様々な活動を行っています。

また、組織の中には「和田丸」の名前をもっと多くの人に知ってもらうため、「和田丸」の名前が入ったTシャツを制作し、イベント参加時に着用するメンバーがいるなど、地域への愛情と誇りが感じられる活動組織でした。

